

# べっぴん 市議会だより

2013.5.1

NO. 113



5月晴れの大空に泳ぐ境川のこいのほり

## 新たに予算特別委員会を設置

### CONTENTS

- P2~3 議決内容
- P4~5 議案質疑、常任委員会・予算特別委員会審査
- P6~11 一般質問（13人が市政を問う）
- P12 正副議長就任挨拶、各常任委員会等の構成ほか

# 平成25年第1回定例会

3月定例会は、補正予算や条例案件などの44議案が上程され、提案理由の説明、議案質疑、所管の常任委員会及び新たに設置された予算特別委員会の審査の後、採決の結果、原案のとおり可決・同意いたしました。

また、新議長・副議長の選出、議会運営委員会・常任委員会・広報広聴委員会の委員の選任、及び大分県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出を行いました。主な内容は以下のとおりです。

## 補正予算

補正予算議案5件については、全て原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

### ◎平成24年度別府市一般会計補正予算

補正する額は10億80万円、総額460億1120万円となります。主な事業は次のとおりです。

- ◇緊急経済対策に伴う公共事業費等 7億1988万4千円
- 道路整備事業、実相寺中央公園整備事業、小中学校耐震補強事業など
- ◇社会保障関係費 1億1480万8千円
- 保育園運営費負担金、老人福祉施設措置費、障がい者自立支援給付費など

### ◎平成24年度公共下水道事業ほか2特別会計補正予算

補正する額は1億9920万円で、総額440億3145万8千円となります。主な内容は、国

の緊急経済対策を活用して、公共下水道の整備を行うもの

### ◎平成24年度水道事業会計補正予算

## 新年度当初予算

新年度予算議案9件については、全て原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

### ◎平成25年度別府市一般会計予算

一般会計の予算額は441億6千万円、前年度と比べて2.6%増となっています。主な事業については次のとおりです。

- ◇安全・安心のための取組 5億357万1千円
- 小中学校・幼稚園耐震補強事業、消防救急無線デジタル化事業など
- ◇社会資本長寿命化の取組 6億6612万2千円
- 庁舎・橋りょう長寿命化事業、中央公民館リニューアル事業など

### ◇環境に配慮した取組

3424万6千円  
街路灯・屋内運動場照明LED化事業、新エネルギー普及促進事業など

### ◇地域経済を活性化する取組

3億6829万8千円  
誘客プロモーション事業、一BEPPOわくわく建設券」発行事業など

### ◇次世代育成支援事業の取組

24億3119万2千円  
放課後児童クラブ施設整備事業、青山小学校校舎等建設事業など

### ◇地域再生への取組

5104万3千円  
亀川駅西口駅前広場整備事業、亀陽泉会館周辺整備事業ほか

### ◎平成25年度別府市国民健康保険事業ほか6特別会計予算

特別会計の予算額は430億8300万円で、医療費・介護給付費の増加により国民健康保険事業及び介護保険事業が増加、一方開催日の減少により競輪事業が減

少、また、公共下水道事業は前年度に事業を前倒したことにより減少、全体の予算規模は前年度と比べて0.4%減となっています。

### ◎平成25年度水道事業会計予算

## 条例制定及び改正

条例議案22件については、全て原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

◎特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について  
市長、副市長、教育長及び水道企業管理者の退職手当の額を引き下げることに伴う条例改正

◎別府市個人情報保護条例及び別府市情報公開条例の一部改正について

◎別府市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等



が発生した場合に設置する市対策本部に關し必要な事項を定めるための条例制定

◎別府市職員定数条例の一部改正について

◎別府市職員厚生会に關する条例の一部改正について

別府市職員厚生会に對する市の負担金を減額することに伴う条例改正

◎別府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

◎別府市職員の給与に關する条例の一部改正について

◎別府市職員の退職手当に關する条例等の一部改正について及び別府市立学校職員の退職手当に關する条例等の一部改正について

国家公務員等の退職手

当支給額の引き下げの事情等を考慮し、退職手当の額の引き下げを行うことに伴う条例改正

◎別府市手数料条例の一部改正について

◎別府市立学校の設置及び管理に關する条例の一部改正について

天間小学校廃止等に伴う条例改正

◎別府市障害程度区分審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について

◎別府市国民健康保険税条例の一部改正について  
国民健康保険税基礎課税額の限度額等を改定することに伴う条例改正

◎別府市移動等円滑化のために必要な道路の構造に關する基準を定める条例の制定について及び別府市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に關する基準を定める条例の制定について

◎別府市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について

◎別府市道路占用料徴収条例の一部改正について

◎別府市都市公園の設置及び管理に關する条例の一部改正について

◎別府市営住宅の設置及び管理に關する条例及び別府市営再開発住宅の設置及び管理に關する条例の一部改正について



— 3月定例会本会議風景 —

◎別府国際観光温泉文化都市建設計画下水道事業受益者負担に關する条例の一部改正について

◎別府市水道事業給水条例の一部改正について

◎別府市布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に關する条例の制定について

### 人事

次の方を、委員に推薦することについて同意がなされました。

◎人権擁護委員

佐藤 静 小野正春  
徳田貴美子

◎監査委員

山本一成

### その他

提案された議案は、全て原案のとおり可決しました。

◎和解及び損害賠償の額の決定について

◎市道路線の認定について

◎事務の委託の協議について

◎別府市営セーリング艇庫の長期かつ独占的な利用について

### 意見書

議員より意見書1件が提出され、原案のとおり採択されました。採択された意見書の要旨は以下のとおりで、直ちに内閣総理大臣、その他関係各大臣へ送付されました。

◎中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書

①全国的な中小企業支援ネットワークの整備とともに、認定支援機関の整備を図るなど総合的かつ、きめの細かい経営支援体制の充実を図るとともに、中小企業への周知徹底、フォローアップに万全を期すこと。  
②地域の金融機関のコンサルティング能力及び支援体制を強化し、中小企業の経営改善を図ること。

## 議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。3月4日に2名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

### 特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について

**問** 特別職退職金を改正するということであるが、現在の18市町村のうちの順位と改正後の順位及び退職金の見解について説明願いたい。

**答** 市長の退職金につきまして、現在は大分市に次ぐ2番目の順位となっております。改正後は、約350万円の減額となりますが、この結果、県内では9番目の順位となります。また、退職金の見解についてですが、公職にある市

長としての退職金は、特別職の報酬審議会という公正な立場、第三者機関に諮って、本来、どのような水準にあるべきかを含めて検討、判断させていただいているところであります。別府市長の特別職の退職金等を決める適正な方法であると考えています。その意見を最大限に尊重し、総合的に勘案して今回の引き下げの議案を提出させていただきました。また、市長として今後も特別職の報酬審議会の答申を真摯に受け止め、また意見を参考にして適切に判断していくという姿勢であります。

## 委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。付託を受けた議案40件については、審査の結果、全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な審査の内容を掲載します。

### 総務企画消防委員会

別府市職員定数条例の一部改正について、委員から職員定数が正規職員に限られている理由、また職員定数を超えた場合に

ついて質疑がありました。これに対し当局からは、「職員定数は地方自治法第172条により条例で定めることとなっている。現在、再任用職員等については勤務時間が短いため定数に含まれない。再任用職員をフルタイムで雇用することは検討しなればならないが、定員適正化計画で正規職員の削減を図っている中では定数を超えるということはない」との答弁がありました。

### 審査

更に、委員から、「これからは高齢者にも働いてもらわなければならぬ。60歳定年まで培った経験を生かしてもらい、再任用職員をフルタイム雇用するべきである。また一方で、非常勤職員を希望する若い世代も多く、退職者の再就職については、個人の能力を十分勘案しなければならぬ」との意見がありました。

更に、委員から、「これからは高齢者にも働いてもらわなければならぬ。60歳定年まで培った経験を生かしてもらい、再任用職員をフルタイム雇用するべきである。また一方で、非常勤職員を希望する若い世代も多く、退職者の再就職については、個人の能力を十分勘案しなければならぬ」との意見がありました。

更に、委員から、「これからは高齢者にも働いてもらわなければならぬ。60歳定年まで培った経験を生かしてもらい、再任用職員をフルタイム雇用するべきである。また一方で、非常勤職員を希望する若い世代も多く、退職者の再就職については、個人の能力を十分勘案しなければならぬ」との意見がありました。

### 観光建設水道委員会

別府市営住宅の設置及び管理に関する条例及び別府市営再開発住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、第1次一括法による「公営住

宅法の改正」及び「市営朝日原住宅F棟を廃止すること」等に伴い、条例を改正しようとするものとの説明がありました。

これに対し委員より、市営住宅の空き部屋対策について質疑がなされ、当局より、「建築年数が長年にわたる住宅については、災害対策等も考慮しながら、長寿命化計画等の中で、整備を行い、入居率の向上を図りたい」との説明がありました。

また、「入居が見込めない住宅に対しては、建て替えも視野に入れて、市民の要望に答えるべき」との意見がありました。

### 厚生環境教育委員会

保育所運営費負担金の追加について、入所児童の増加によるもの等の説明がありました。

これに対し、委員から待機児童の状況についての質疑がなされ、当局より、「国の定義においては、別府市での待機児童数はゼロであるが、保護



者が特定の保育所を希望するといった等の理由により、入所待ちの児童が存在するため、定員増等により解消を図っている。しかしながら、保育士が不足している現状にあるため、国が実施を予定している保育士待遇改善事業を踏まえ、各保育所に協力を求めていきたい」との答弁がありました。

### 予算特別委員会

予算特別委員会の設置については、行財政・議会改革等推進特別委員会での協議を経て、今定例会にて新たに設置されました。委員長に首藤正議員、副委員長に市原隆生議員を選出し、新年度予算議案及びその関連議案の審査を全議員で行いました。審査の方法は、会派代表者質問(5名)、個人質問(8名)をそれぞれ行った後、付託された議

案について順次採決を行いました。また、その模様は本会議同様、ケーブルテレビ及びインターネットで中継されました。委員会での主な意見等については次のとおりです。

### まちなか交流会館建設

事業については、現状の当該地周辺は人通りもまばらであり、まちの回遊性、観光客の集客が高まるとは到底思えないとの意見がありました。また、竹瓦温泉の活用についても、提言があり、今後、議会としてのチェック機能を存分に果たしていきたい旨の意見が述べられました。

### 南部地区関連予算について

は、12月議会での論議では、当局から南部地区の活性化について方向性を示したいとの答弁があったが、今回の予算に反映されているとは言えない。南部地区の活性化は喫緊の課題であるので、南部地区全体の底上げのため、一体的な解決

に向けて、早急に対応をとるべきとの意見が述べられました。

### 通学路の危険箇所等について

は、教育委員会の予算では、路側帯や文マークの設置、上塗り等の整備工事しかできない。道路の補修工事等の予算についても、教育委員会でもとめて予算計上し、子供たちの安全・安心を守るため、要望を実施するための、しっかりとしたシステムを構築してほしいとの意見が述べられました。



— 新たに設置された予算特別委員会の風景 —

進については、別府市の

### 新エネルギーの普及促進

今後の取組について質疑があり、当局より、今回の機構改革で地球温暖化対策や新エネルギー等の環境政策を推進するため、環境課に環境企画室を新設し、平成25年度に、別府市の新エネルギーのポテンシャル調査を行い、この基礎データを基に、地域特性に合致した新エネルギーの選定とその導入に向けた促進策の検討を行っていききたいとの説明を受けました。

### 母子保健事業について

は、「未熟児療育医療給付事業」「未熟児の訪問指導」等が権限移譲されるところのことだが、財政負担の解消も含めて、この事業に従事する保健師の増員等しつかり体制を整備し、よりよい方向で実施してほしいとの要望がありました。

### 教育関係では、学校

いきいきプランの実施目的及び状況について、補助教員は、学校にとって非常に貴重な戦力であり、重要な役割を担っている。今後も状況に応じた

適切な配置を行い、きめ細かな支援を行うよう要望がありました。

### 国民健康保険事業について

は、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率が低い現状を踏まえ、平成24年度下期に緊急雇用創出事業の中で臨時職員2名を雇用して受診率、実施率の向上対策をとつたが、その効果について確認がありません。また、国民健康保険の引き下げであるが、所得割のからない人たちへも負担軽減を広げるべきではないかとの意見がありました。

### 地方卸売市場事業について

は、平成3年度をピークに、平成24年度見込みでは、半減し、売上手数料は4分の1まで落ち込んでいる。また、建物も、築28年が経過し、経年劣化が進んでいる。そろそろ管理運営を見直す時期にきているのではないかと指摘がありました。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。3月12日から15日の3日間、13名の議員が市当局の見解を質しました。主な内容は次のとおりです。

## 別府わくわく

### 建設券について

公明党

穴井 宏二 議員

**問** これまでの議会で何度か別府の景気対策として「プレミアム建設券」の導入を提案してきましたが、今回、名称は違いますが、別府市独自の形で作りあげていただき大変ありがたく思っているところである。建設券発行にあたり、経緯を簡単に説明願いたい。

**答** 議員より過去3度ほど議会において提案を頂き、多方面から検討をさせて頂いていた。他市からの問い合わせもあり、県下でも初の試みである。

いてお伺いしたい。

**答** 金融機関で融資を受けると思いますが、40枚の限度枚数の購入と考えられますので、最初に申込みをして頂き、融資された時点で建設券を購入して頂ければと思います。対象業種は、建設業法第2条第1項の28業種の工事を対象にしており、周知については、チラシの全戸配布を2回、商工会議所のホームページにて追加更新して周知徹底致します。

## 人権同和行政は公正に改めるべき

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

**答** 支払いは、銀行振り込みで複数回の購入は可能です。太陽光発電システム設置工事や公共下水道の切り替えは、対象工事となります。

**問** 新築、改築も対象となつているが、建設券の購入で自己資金がない場合はどうするのか。また、対象業種、周知につ

**問** 障がい者への差別をなくす条例を6月議会に提案予定だが、別府市条例の素案は防災の問題、親亡き後の問題、社会モデルを原則とする。この3点で先進的だと考える。絵に描いた餅では困る。要望に応えるために事業所を拡充したいが難しいという声を聞く。市

の施設の活用など市の支援が必要だが、どうか。



— タウンミーティング風景 —

**答** 財政的なこともあり、すぐに取り組めるものと年次計画で取り組まなければならないものがあり、優先順位を検討する必要があります。来年4月の施行に向けて具体的な施策を考える上で検討したい。障害がある人も安心して暮らせるまちづくりに、市民の協力を得ながら全庁体制でしっかりと取り組んでいきたい。

**問** 高齢者向けグループホームのsprinkler設置状況はどうか。

**答** 別府市では設置義務のないグループホームを

含め、13箇所全てに設置している。

**問** いじめや体罰をなくすため、子どもの命、最優先に力を合わせることもや釜石に学び自ら命を守る防災教育を強めるべき。

**答** 学校は市民のものであり地域の財産だ。自然災害から子ども達の命を守る使命と義務がある。考える力、判断力を身に付けさせることが肝要だ。教職員・教育委員会は、いじめは絶対許さない、体罰は違法だとしつかり自覚し、安心できる学校に、学校・地域・家庭と一体でまい進したい。

**問** 同和団体は支部主催の活動がない。毎年各260万円以上の補助金を2団体に出しているがやめるべき。

**答** 今後とも団体と協議する。精査すべき点は精査したい。



## 土地買収にからむ 詐欺行為について

日本共産党議員団

平野 文活 議員

**問** 問題の土地は、平成19年に所有者から寄附の申し出があったが、市は「寄附を断つた」土地であると聞かすが、本当か。

**答** 本当です。

**問** そんな土地を、市長の知人が代理人となつたらなぜ買収することになったのか理解できない。代金支払いは口座振り込みではなく、現金で代理人に支払つたということだが、過去にこんなことがあつたか。

**答** 過去10年間で一件のみです。

**問** 昨年1月に土地所有者から市に問い合わせがあり、その際、土地所有者の方は「代理人に土地の売買を委任した覚えがない、土地代金も受け取っていない」と言っていたというが、本当か。

**答** 本当です。

**問** ということは、市はすでに昨年1月の時点で、今回の事件を知っていたことになる。昨年1月以降の経過は市長には報告していたのか。

**答** 報告していません。

**問** それではなぜ市長は、代理人を名のる男が逮捕された翌日のマスコミ取材に対して「事件の詳細を把握していない」などと答えたのか。

**答** 経過の報告は受けていました。

## 学校のクラブ活動 支援について

公明党

市原 隆生 議員

**問** 中学校の運動部活動において、県大会以上の大会に出場するときは中学校体育連盟を通じて、別府市から補助金が支給されます。また、大分県予選を経て九州大会以上

の大会に出場する場合は、別府市スポーツ振興奨励金が支給されます。

しかし一方で、吹奏楽等の文化部が県大会以上の大会に出場する場合であっても補助金等が支給されていないが、これは教育の機会均等という意味においては問題ではないか。



— 文化部の活動支援を —

**答** ご指摘のとおり、中学校運動部においては、中学校体育連盟に対する補助制度がありますが、文化部には、中学校文化連盟に対する補助制度が、現在、教育委員会の中にはありません。ただ、文化部でも、県予選を経て九州大会以上に出場する場合は、文化国際課が

所管する「別府市文化活動育成事業補助金」があります。教育委員会の中の制度ではないために、今まで活躍する中学校の文化クラブに対して利用されることがありませんでしたが、今後、文化部に対する補助金制度につきましましては、関係各課と連携を図り、検討してまいります。

**問** 中学校の文化部でも、この制度のことを知らないのではないか。教育委員会では、この制度を周知しているのですか。

**答** 関係各課ともよく連携を図りながら校長会等で、この制度を広く周知したいと考えています。

## 3ワクチンの定期 接種化実現について

公明党

荒金 卓雄 議員

**問** 平成25年度から、国の政策として子宮頸がん等3ワクチンが任意接種から定期接種になる。そして、妊婦健診の14回助

成も、時限措置から恒久的的制度になります。別府市の健康づくりの観点からどう評価するか。

**答** まず、妊婦健診の助成恒久化で、経済負担の軽減を図る十分な財政措置が取られることになり、更に、法的根拠に基づき定期接種化は、接種者の健康被害にも対応できる制度になります。先進諸国の予防接種施策に近づくと評価します。

**問** 国からの財源は地方交付税措置だが、その問題は。

**答** 従来の時限的な基金事業と違い、事業を安定的・継続的に実施できますが、別府市の財政負担を考えると、交付税措置ではなく、補助金等具体的な財政支援が必要であると考えます。

**問** 4月の機構改革の目的は何か。

**答** 社会や経済の状況が変化している中、新たな行政課題に対応するため

です。

**問** 建設部に、都市整備課が新設されたが、従来の都市政策課、道路河川課との役割分担は。

**答** 都市整備課は、社会资本整備のまちづくりを推進。道路河川課に集中していた業務を分散し、道路河川課は道路、橋りよう、河川の維持管理業務を中心とする。都市整備課には用地係を置き、市街地における都市計画道路の新設改良等を行う。

**問** 大規模災害の場合に、大変有効な「被災者支援システム」の別府市の導入経過は。

**答** プログラムは既に入済みです。運用面で、平成26年度の新基幹システムの変更に合わせて、導入完了を目指します。

### 協働のまちづくり

自民党議員団

野上 泰生 議員

**問** 市内に145ある自

治会の課題と課題解決の取組は。

**答** 運営上の課題として①未加入者が増えている②役員の高齢化③役員の成り手不足④業務量が多い事などがあげられます。それに対して、転入者等への加入促進チラシの配布等をしてはいますが、高齢化等に関して効果的な取組はできていません。

**問** 市報の折込配布物の削減やコミュニティ機能の強化などの政策を検討して欲しい。NPOや市民団体に期待する役割や課題は。

**答** 行政が把握できない市民ニーズをつかみ、解決することを期待しています。課題としては、資金の調達や活動人員の不足等があると考えています。

**問** 新しい寄附税制やふるさと納税制度を活用したNPO等を支援する市民ファンド等を検討して欲しい。今回の新しい行政提案型事業で何を図ろうとしているのか。

**答** 今回、創設された行政提案型協働事業を通じて、地域や市民団体の持つ特性や資源を活かす事で、より市民のニーズにあったサービスを提供できるようにしたいと考えています。行政と市民が対等な立場で適切な役割分担による事業を実施するなかで行政と市民とのパートナーシップを構築する機会にしたいと考えています。

### 大河ドラマ「軍師官兵衛」について

自民党議員団

松川 章三 議員

**問** 2014年NHK大河ドラマで、豊前の国中津市が舞台となる「軍師官兵衛」について、別府市の基本的スタンスを伺いたい。

**答** 別府市においては、「関ヶ原の戦い」の縮図とも言える、「石垣原の戦い」が行われたことは大変重要であり、誘客活動に結び付けたいと考えている。

**問** NHK大河ドラマは、視聴率が高く、集客効果が高い。別府市においては、もう1つの関ヶ原と言われた「石垣原の合戦」があり、たくさん史跡等がある。積極的にロケ誘致活動等を行うべきではないのか。



— 大河ドラマのロケ地誘致を —

**答** 昨年の10月に、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の制作が決定されたことを受け、中津市、大分県、別府市等、周辺自治体、関係団体等を含め、大河ドラマ「軍師官兵衛」推進協議会を設立した。この協議会の中で、誘致・宣伝等に努めたい。

**問** 石垣原古戦場に関する立て看板に、イラスト

マップ等、整備・作成をする必要はないのか。

**答** 市内には多数の史跡があり、大河ドラマ「軍師官兵衛」が放送されれば、多くの観光客が訪れることも予想される。関係各課、団体と対応策を協議したい。

**問** この黒田官兵衛の「石垣原の合戦」は、官兵衛にとつて最後の戦いであり、別府市にはまたとないチャンスである。この戦いをなんとか取り上げてもらいたいと思うか。

**答** 市内には、大友本陣跡や黒田如水本陣跡等、たくさん「石垣原の合戦」の史跡がある。ロケ誘致等も含めて、しっかりと頑張っていきたい。

### 九州横断道路歩道橋設置について

創政会

手束 貴裕 議員

**問** 石垣東10丁目の九州横断道路は交通量も多



く、児童が横断するにはとても危険です。校区再編の時期に歩道橋設置の計画が示されたと聞きました。今現在の計画はどうなっていますか。

**答** 平成18年度には計画がありました。地権者との協議で承諾を得るに至らず、設置は難しいと考えます。

**問** 経緯は分かりませんが、地域の方々から説明不足との声があります。教育委員会として説明の場を設けることはできないですか。



— 地元住民への丁寧な説明を —

**答** 責任を持って早くに各自治会の方々に謝罪を申し、改めてご説明を

させていただくよう考えています。

**問** 今現在の状況では歩道橋の設置は難しいことは理解しましたが、歩道橋ができないのであればほかにどのような安全対策を講じていますか。

**答** 朝の登校時に交通指導員を配置し、別府警察署に取り締まり強化をしていただくようお願いしています。

**問** 毎年必ずこの箇所に交通指導員を配置していただきたい。

**答** 関係課と協議を重ね、毎年交通指導員を配置することになりました。

**問** 報道によると別府市民にとつて大変な不祥事が発生した。この不祥事の関係者が市長の名前を利用した事で、市長と関係者との関係が深いのではと考えられます。市長ご自身は、「この関係について便宜を図ったり、口利きしたことはない。20数年前からの支持者の

一人だが後援会幹部でもなければ、名簿にも載ったことがない」とのことだが間違いはないですか。

**答** 間違いありません。

### 子どもの貧困について

市民クラブ

三重 忠昭 議員

**問** 経済不況、非正規雇用の増大等、親の厳しい環境が子どもの貧困にも繋がっている。経済的な理由で進学・就学に不利にならないよう特別な配慮が必要である。等しく教育を受ける権利を持つ子どもたちの未来を守るために充実した就学支援を求めたい。

**答** 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学援助を行っている。年々その世帯も増加しており、毎年補正予算を計上している。

**問** 雇用・労働について、職を失い生活保護を受けている現役世代が増えて

### 別府市における不祥事について

創政会

野口 哲男 議員

いる。社会復帰に向けた就学支援はどうなっているのか。公的機関をはじめ、民間にも協力をお願いし簡易な作業や中間的業務を通じて社会復帰に繋げていく取り組みも必要であると考えるが。

**答** 就学支援の充実に向け、2013年度から就学支援員を増員した。きめ細かい就学・自立支援の強化に努めていきたい。

**問** 別府市立図書館について、別府市総合計画において新図書館建設があがっているが、現図書館の改修基本計画は何のためか。その位置づけは。新図書館を望んでいる多くの市民もいる。しっかりと協議していただきたい。

**答** 新図書館の建設は長期的な課題である。今回の計画は現在地の改修を前提としたものであり、短期・中期的な課題解決のためである。今後はこの計画をもとに図書館のあり方、方向性を検討していきたい。

**問** 今回の事件は市役所を舞台にした市政始まって以来の不祥事である。所有者が寄附を申し出た土地を断り、代理人が交渉し、通常は考えられない511万円もの代金を現金払いしたのはなぜか。

**答** 当初は寄附を断ったが、管理上必要と考え買収した。現金払いは必要な書類が揃っていたので代理人に支払った。

**問** 現金は土地所有者に渡らず詐取された。十数回も交渉し、現地も見ていのになぜ所有者に一回も接触しなかったのか。会っていれば寄附行為で落着し、事件は起きなかつた可能性が大きい。市に大きな瑕疵があつたのではないか。

**答** 所有者に現金が渡らず、一回も会わなかつたのは結果的に市の落度で

あった。

**問** 市長と水永容疑者の関係は色々取り沙汰されているが、今回の事件では裏選対の幹部であるといっており、金は市長選に流用したと言われている。改めて関係を聞きたい。

**答** 裏選対というものはない。また幹部でもない。県議時代から支持者として応援いただいた友人である。

**問** 行政は市民の生命と財産を守るのが原則と考えるが、今回の事件に対する市長の見解は。

**答** 大変申し訳なく、歯痒く、責任を感じている。

**問** コンプライアンス（法律や社会的常識等厳密に守り、反社会的勢力との接触を禁止）、行政責任（不適切な行政責任による損害の補償、監督不行届き等）、説明責任（行政機関又は個人が行った判断行為に対し市民が納得するよう説明しうること）等から第三者

機関等を設置し調査を行い市民が納得する説明をすべきではないか。

**答** 捜査には全面協力しており調査機関等設置することは考えていない。

**市長は責任を取って辞職すべき**

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

**問** ゴミ焼却炉運転管理会社設立や市有地売買代金詐欺事件に関連し9名が逮捕された。別府市政の一大不祥事。市長と事件の中心人物水永容疑者の関係は。

**答** 県議時代からの支援者。

**問** 水永容疑者は、市長室に非常階段から出入りし、また、市長室で行われた、スーパイズミのシネコン建設協議にも出席している。また、ごみ焼却炉の管理をしていた別府環境エンジニアリング設立に暴力団員と関わった。更に、市が購入

したスパランド豊海の土地売買にも関与している。水永容疑者は行政に深く関与し、市政に影響を与えていた。市長の責任は。

**答** 市民に不信感を抱かせ、また心配をかけ申し訳ない。お詫びしたい。

**問** 水永容疑者の行政への関与はこれまでも議会で指摘してきた。事件の本質は、暴力団員と関係を持つ水永容疑者が、別府市暴力絶滅協議会の会長（市長）と極めて親密な関係であることだ。この事実から市長職に留まることは許されない。これ以上、市の信用失墜や、混乱を深めることなく辞職を求めるとな

**答** やめる時期は自ら判断したい。

**問** 南小学校が廃校になって、すでに10年以上経過している。市は跡地活用の具体策さえ持っていない。住民アンケートは、賃貸住宅、高齢者の福祉施設、ショッピング施設等に対する要望が多

く占めている。民間活力を導入し南部振興に早急に取り組むべきだ。

**答** 平成25年度から地元との協議を開始したい。

**水道局の行革について**

公明党

堀本 博行 議員

**問** 水道局の委託を含めた行革についてどのような考えを持っているか。

**答** 水道事業の運営の基本は、安全で安心できる水の安定的な供給を行い、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与すること、及び企業の経済性を発揮することともに、本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営に努めていかなければならないと認識しています。企業の経済性を発揮するとは、水道事業の能率的、合理的な業務運営を行い、最小の経費で最良のサービスを提供することと考えています。ご質問の委託を含めた行革については、他都市の

**広報広聴委員会**

当委員会は、議会報・ホームページ委員会の事務を引き継ぎ「市議会だより」の発行、「市議会ホームページ」の編集に加え、今年度から開催される「市民と議会との対話集会」の企画等を行います。

**委員長**

堀本 博行

**副委員長**

野上 泰生

**委員**

森 大輔  
手束 貴裕  
加藤 信康  
荒金 卓雄  
松川 章三  
国実 久夫  
猿渡 久子  
吉富英三郎  
黒木愛一郎  
山本 一成  
河野 数則



事例を参考に、従来型の業務委託に加え、第三者委託や料金徴収業務等の包括委託などの実施に向けて調査・検討をしているところ。また併せて、水道局4課において、現行の業務内容や組織機構の見直しを図ることにより、組織のスリム化を目標に取り組んでいくところ。――



― 行財政改革の進捗状況は ―

**問** 今後10年、30人余りが退職していくということがあるが、将来の水道について、どのような方向性を持って進めていくかと考えているのか。

**答** 今後10年間で、大量退職を迎える状況を視野に、組織機構の見直し、浄水場の第三者委託、また包括委託などの実施に向けて調査・検討し、経

営の健全化を進めてまいります。なお、国において「新水道ビジョン」が本年4月に改定されることにより、局としても現行の「別府市地域水道ビジョン」の見直しと第2期中期経営計画の新たな策定作業に取り組む考えです。また、平成22年度より「水道事業経営懇話会」を定期的に開催してまいりますが、中期経営計画の98項目の取組に係る「外部評価」を実施して事務事業の見直しを図って参りたいと考えています。

### 児童行政について

市民クラブ

森 大輔 議員

**問** 現在、民間児童館は「別府市の児童福祉の中核」として、約1万数千人の児童とその家族の生活を支えている。にもかかわらず、新年度から民間児童館への運営委託料が減額されている。国からの交付税も活用されて、公設児童館の半分以下の経費で運営している民間児童館への支援拡充

が必要ではないか。

**答** 民間児童館の意義は認識しておりますので、支援の継続は必要だと考えております。ただ、市単独での支援も厳しい状況ですので、県には引き続き補助金の継続を要望しているところでございます。

**問** 平成23年度の児童虐待死亡事件を受けて、児童虐待防止検証委員会より提言を受けているが、その進捗状況についてご答弁ください。

**答** 検証委員会から受けた児童虐待防止に向けた8つの改善案のうち、7つの項目については既に取り組んでいます。ただ「スパーバイザーによるケース会議の実施」は、まだ検討の段階となっております。

**問** 検証委員会が提案された8つの改善案の中で、まだ実施に至っていないのがこのスパーバイザー体制です。それぞれの分野の第一線で、子どもと接しているご専門

の方々で作るケース会議の実現によって、児童虐待の早期発見や防止に繋げることができると思いますが。児童虐待のリスク管理がしっかりとできる「スパーバイザー構想」の早期実施に向けて取り組みをしていただきたいと思います。

**答** スパーバイザーの早期設置に向けて、関係者と協議を重ねたいと考えています。

### 3月定例会 会期の経過

- 2月 20日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 27日 本会議（議案上程等）、予算特別委員会
- 3月 4日 本会議（議案質疑等）、  
常任委員会、広報広聴委員会
- 5日 常任委員会審査
- 6・7日 予算特別委員会審査
- 11日 予算特別委員会審査、議会運営委員会  
本会議（各常任委員会報告、表決ほか）
- 12日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 13日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 14日 本会議（一般質問）、広報広聴委員会
- 21日 本会議（予算特別委員会委員長報告、  
表決ほか）、議会運営委員会

※次の定例会は6月7日(金)から21日(金)を予定しています。変更となる場合もあります。

**大分県後期高齢者医療広域連合議会議員**  
(別府市議会選出)

超高齢化社会を展望した医療保険制度体系の実現に向け設置されており、県内すべての市町村議会から委員を選出します。

森 大輔  
手束 貴裕

# 正・副議長 就任あいさつ



議長  
よしとみ えいさぶろう  
吉富英三郎



副議長  
あらかわ たくお  
荒金 卓雄

去る3月の市議会定例会で新たに議長及び副議長に選出され、責任の重さをかみしめております。私たちも浅学非才の身であります。これまでの議員経験を生かし、また、市民の皆様のご意見も伺いながら、この職責を果たしてまいりたいと考えております。

さて、別府市議会は6年前から「議員定数の削減」「行財政改革に関する決議」「予算特別委員会の設置」など数多くの議会改革を行ってまいりました。今後その手を緩めることなく、より一層、創意工夫・努力を積み重ね、市議会の権能を更に高めるとともに、執行機関と真摯に議論を重ねて、市政の更なる発展、市民福祉の向上に努力してまいる所存でございます。

市民の皆様におかれましては、今後とも別府市の発展に取り組む市議会の諸活動に対し、格段のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 委員会構成 3月定例会において、以下の委員会委員が選任されました。

委員会名	所管事項	委員名
総務企画 消防委員会 (9名)	行財政・組織・人事・事務管理・防災・国民健康保険の運営、消防・救急体制の充実など	◎河野 数則、○堀本 博行、森 大輔 手束 貴裕、加藤 信康、荒金 卓雄 吉富英三郎、山本 一成、泉 武弘
観光建設 水道委員会 (8名)	観光・商工業・農林水産業などの振興と活性化、都市計画及び開発の推進、上水道・下水道・道路・公園・市営住宅の整備など	◎三ヶ尻 正友、○森山 義治、久夫 久夫 野上 泰生、穴井 宏二、国実 峰生 黒木 愛一郎、平野 文活、松川 松川
厚生環境 教育委員会 (8名)	福祉施策の充実、健康の増進、環境対策、学校教育の充実、社会教育の推進など	◎首藤 正、○松川 章三、ひさこ 久子 三重 忠昭、市原 隆生、猿渡 勝彦 野口 哲男、永井 正、江藤 江藤
議会運営 委員会 (8名)	市議会の円滑な運営を図るため、議事の運営、その他必要な事項の協議など。	◎三ヶ尻 正友、○永井 正、よしはる 義治 手束 貴裕、野上 泰生、森山 義治 穴井 宏二、国実 久夫、平野 文活

(◎委員長 ○副委員長、議席番号順で掲載)

### 編集後記

市民の皆様には、市議会活動にご理解を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、平成23年9月に行財政・議会改革等推進特別委員会を設置し検討を重ね、開かれた議会の実現のため「市民と議会との対話集会」を本年度より開催することを決定いたしました。担当委員会として、議会報・ホームページ委員会より「広報広聴委員会」と名称も改め、陣容もこれまでの8名体制から13名体制に拡充し更なる充実を図ってまいります。対話集会では、議長をはじめ全議員が2班に分かれ、市内6箇所の地区公民館等で議会の活動状況等の報告、市民の皆様との意見交換をさせていただきます。なお、開催時期につきましては、今後は、委員会での決定となりますが、多くの市民の皆様のご参加をお待ちいたしております。

別府市議会広報広聴委員会  
委員長 堀本 博行